

多様な農業関係者に寄り添った農林漁業の振興と地域づくり

研究の概要

農業振興や農協販売事業のあり方を中心として、農産物の流通やマーケティング分野に関する研究を進めています。また、都市農村交流（地域おこし協力隊、関係人口なども含む）や産地や中山間地域における地域づくりについても研究を進めています。可能であれば、学生の参画も検討して、農家や地域とともに研究教育活動に取り組んでいます。

研究の特徴

農協販売事業（共販や直売所）、農産物流通などをキーワードとして、農業の活性化方策や農村における地域づくりのあり方について、現場の声をもとに、研究教育活動を行ってきました。今後も、「現場から理論を構築する」、そして、「理論を現場に伝える」という双方向の研究教育活動を通じて、今後の農業や農村のあり方を、みんなで考えていきたいと思います。まだまだ、現場のことを知りませんので、地域（農家）の皆さんにはお世話になると思います。よろしくお願いいたします。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

地域との取り組みについては、所属している食農総合研究教育センターの URL（特に、「資料」の中にある「ニュースレター」等）をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/food-agri/>

研究者からのメッセージ

農業や農村の活性化に向けた調査研究や地域住民との活動など、課題解決に向けて取り組む当事者とともに、調査研究に組み込みたいと思います。食農総合研究教育センター長も兼任しています。

研究分野：農産物流通論、地域づくり戦略論、農協（共販）論

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学経済学部 経済学科・教授・岸上光克

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp